

TOKYO SEITOKU

January.2024

NOW

vol.
55

東京成徳学園の“今”を発信する広報誌

特集

Global study

グローバルな学びで、未来をひらく。

TOKYO SEITOKU FESTIVAL 2023

学園祭 REPORT



つながる学び、ひろがる未来。

学校法人 東京成徳学園

TOKYO SEITOKU



GOOD DESIGN
AWARD 2023



TOKYO SEITOKU NOW



東京成徳学園 学園長
木内 秀俊

人生万華鏡^{まんげきょう}

『思い出を懐かしむ』

以前初老に近づいた頃にある友人が「僕は今思い出に生きている」と言ったことがありました。その時はまだそんなに老い込む年でもないのにやに爺むさいことを言うなと思いました。しかし年を経て後期高齢者の一員となるに伴い人生のさまざまな場面を思い起こすことが多くなり以前の友人の言葉の「思い出に生きるという感覚」が実感として湧いてきています。我々は誰しも喜怒哀楽の人生を送ります。そして過去の時々感じた喜び怒り哀しみ楽しみをしみじみと懐かしく思い起こしながら自分の人生を振り返る時が来ます。

『和して同ぜず』

我々は幼児期からさまざまな出来事や人間関係の経験によって喜怒哀楽の感情が芽生えます。そして感情が充実・複雑化するとともにその調整能力も育てて人間的に成熟していくものと考えられます。

この喜怒哀楽の感情を育てる背景には緑豊かで四季

の変化に富む山紫水明の日本の自然とそこに生活する人間のつながりいわゆる風土の影響があります。だが現在この背景は変化しています。まず人間のつながりでは稲作を主軸とした従来の農村社会が都市化や工業化の進展と少子高齢化により農村内部の組織やつながりが崩壊しつつあります。

また自然も無秩序な都市開発とインフラの老朽化や森林の荒廃に加え近年大きくなった気候変動の影響により大規模災害が頻発する現状です。

一方日本の風景・人情を求めて来日する外国人が増えています。しかし我々日本人こそ国内のさまざまな分野や地域の人々との交流を通じて日本人としてのアイデンティティーを確認する必要があります。日常的に世界の人々と接する機会が多くなった今、多様な価値観と感情への理解と対応が必要です。そのためには文化面での活発な交流が有意義であります。しかし国益を考慮する必要のある政治・経済面では相手の考えに無批判に同調することと逆に闇雲に反発しない程よい距離感を持つことが必要です。遠交近攻という言葉があります。利害関係の薄い遠い国々と積極的に友好し対立しがちな隣国とは是々非々の和して同ぜずの自主自立の気概と立場を保つことが重要です。このような環境



成徳幼稚園が2023年度グッドデザイン賞を受賞しました。
本号P.21 NEWSでもご紹介していますので、ご覧ください。

を保つためにも世界の人々と積極的に交流していく必要があります。

『人生で最終的に大事なこと』

人間はそれぞれが特色や特徴を持っています。その特色や特徴を自分が十分認識するためには客観的な評価が大切です。外部から評価されて初めて客観的な自分の位置づけを知ることができます。多様な価値観や習慣に触れるために広く国際世界での活動が有意義です。現代は個々人が自分の特徴や能力を知ってそれを人生の中で最大限に伸ばしていくことが求められています。

しかし人間に最も大事なことは個人が社会集団の一員であり皆等しくその中ではかけがえのない存在であることの自覚であると思います。自分の興味に沿って能力を発揮することは大事ですが、それにも増して大事なことは世の中のため他人のために行動し生きていくことです。そうすることが最終的に自分に人生への充足感や満足感をもたらすと信じます。

自分の人生を振り返った時喜怒哀楽の感情を伴うさまざまな出来事が万華鏡を見るごとく浮かんでいきます。現在をよりよく生きて人生の終わりに過去の思い出を懐かしく思い起こす時を持ちたいと思います。

編者注：木内学園長は、2024(令和6)年1月2日 78歳をもって永眠いたしました。
つきましては、本稿が木内学園長の遺稿となります。
生前のご厚情に深謝いたしますとともに、謹んでお知らせ申し上げます。

TOKYO SEITOKU

NOW

「TOKYO SEITOKU NOW」は
1年に2回、東京成徳学園の情報を
お届けする総合広報誌です。

01 巻頭言

03 特集1

Global study

グローバルな学びで、未来をひらく。

07 特集2

TOKYO SEITOKU FESTIVAL 2023

学園祭REPORT

11 TOPICS

11 国際学部／子ども学部／経営学部

12 応用心理学部／大学院

13 短期大学／中学・高等学校

14 深谷中学・高等学校／幼稚園

15 ひと『活躍する卒業生』

有限会社 岡塾本店 6代目女将
榊 萌美さん

17 クラブ活動報告

18 Student's Voice

19 学園の動き

21 NEWS

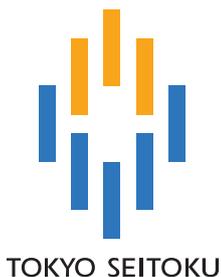
22 先生に聞く。

ブランド・ステートメント

23 お問い合わせ先

学園後援会のご案内
読者アンケートのお願い

学園のシンボル・マーク



イエローは「活力」と「勇気」を表し、3本の柱は学生・生徒・園児、教職員、同窓生を象徴しています。ブルーは「理想」と「若さ」を表し、5本の柱は5つの教育目標を象徴しています。そして、8本の柱が一体となり、東京成徳学園とその学園に集う人々のヒューマンティータンを作上げる姿を表現しています。

“ 特集 1 Global study グローバルな学びで、未来をひらく。 ”



GO to 
カナダ
 ヨーク大学
 に留学

GO to 
オーストラリア
 ディーキン大学
 に留学

 From
韓国
 ガチョン(嘉泉)大学から
 日本へ留学

三井 さくらさん
 応用心理学部
 健康・スポーツ心理学科 4年
 内定先：全日本空輸株式会社

中 歩輝さん
 国際学部
 国際学科 2年

チェ ヒェビンさん
 嘉泉大学 東洋語文学科
 日本語専攻 4年
 本学受入：国際学部

世界各国で渡航制限が解除され、海外留学が活気づいています。東京成徳大学でも1年生での留学が必須である国際学部に加え、さまざまな学生が大学のプログラムを利用しながら留学を実現させています。

今回は、海外留学を経験した中さん、三井さん、さらには韓国からの交換留学生として日本で学ぶチェさんの3名をお招きして、留学時のエピソードや得たものなどについてお話をいただきました。

—— 皆さんが留学に興味を持ったきっかけを教えてください。

中 中学の頃から全教科の中で英語に最も興味を持っていました。机に向かって覚えるだけではなく、実際の英語を体感したい、必ず留学をしたいという思いがあり、1年生全員が留学をする国際学部に入學。留学先はオーストラリア・メルボルンで、約8か月間現地のホストファミリーのところにホーム

ステイで滞在しました。

三井 高校生の時に1か月間の短期海外研修に参加したのですが、自分の思いがうまく伝わらない、相手の言っていることが聞き取れないという状況で、悔しい気持ちで帰国しました。そんな記憶も忘れかけていた頃、大学3年の時にグローバル教育センターからの案内で大学が実施する留学プログラムを知り、「国際学部以外でも希望

すれば留学できるんだ」とハッと。高校時代の悔しい経験を塗り替えたという思いもあって、カナダ・トロントでの4か月間の留学を決めました。

—— チェさんは交換留学で韓国から東京成徳大学に留学したと伺いました。

チェ はい、もともと韓国の大学で日本語を専攻しており、学ぶほどに「もっと日本語が上手になりたい」「日本人が日常生活でどんな表現を使うのか、日本の生活はどんなのか、直接経験してみたい」という気持ちが深まったことで交換留学プログラムを希望しました。留学先の候補の大学はいくつかあったのですが、嘉泉大学の同学年で東京成徳大学に留学経験があ

る友人から「先生や学生が優しいし、プログラムが充実している」と評判を聞いていたことが決め手になりました。

——実際に現地での授業はどうでしたか？

中 授業のスタイルは結構違いましたね。プレゼンテーションやエッセイなど自由に表現して発表する機会が多かったです。

三井 そうですね。ペアやグループになって発表したり、発言することが中心でした。習った英文法を使ってその場でアレンジして発表することも多くて、気を抜く暇がなかったほど。

中 僕はホームステイだったので、そこでも自分の意見や考えをしっかりと伝えないといけなかったのが、かなり鍛えられました。

三井 日本人特有の“空気を読む”が通用しないからね。はっきり言わないと、むしろ自分が空気になってしまいそうで「YES」「NO」を明確にすることはかなり意識しました。

チェ 韓国も同じように積極性が大事で、例えば講義の受講申請などは先着順で、うっかりしていると希望していたのに受講できないといったことも多々あります。でも日本は学生たちが受けたい講義を最大限受けられるように配慮されていたり、1限から5限までの授業時間が決まっているので予測して行動できたりと、学生が余裕を持てるというメリットはあるなと思いました。

三井 そういう見方もあるんだね。

チェ そうなんです。日本の大学は部活やサークルが盛んで活気がありますし、趣味やプライベートを楽しむ学



東京成徳大学には2023年4月～8月まで在籍。その間に友達と東京ディズニーランドに行ったり、お祭りや海に行ったり…と思い出がたくさんできました！

生も多いので人生を謳歌することの大きさに気付かされるというか。あとは個人的に「日本は韓国とどんな違いがあるのかな」と比較することはささやかな楽しみでもありました(笑)。

——大学での留学前の準備や各種サポートで役立ったことはありますか？

全員 グローバル教育センターです！

三井 グローバル教育センターの水落さんと相談しながら留学先を選んだところから始まり、自分の目標に合わせて語学力向上を図ることができるレベル別クラスの「English Lounge」への参加や、昼休みの空いた時間にネイティブの先生や学生と会話できる「English Salon」にも足を運びました。ここで“道に迷った時に使える英会話”、“万が一のトラブルの際に使える英会話”など、実際に海外で役立つ実践的な英語を集中的に学ぶことができましたね。あとは現地の生活に必要なものなどを水落さんに教えていただいて。これが本当に役立ちました。

チェ 水落さんは留学生の私たちに会うたびに「元気？」と声をかけてくれて、悩みを聞いてくれるだけではなく、アドバイスや具体的な解決案、そして実際の手助けまでしてくださって。本当にお世話になったことばかり

で、感謝しかありません。

中 僕は8か月間という長期留学だったので心配事はたくさんありましたし、留学前に分からないことが多かった。事前にグローバルセンターに通って不安なことを1つずつ解消したことで、かなり前向きになりました。帰国後も「次のステップとしてこんなプログラムがあるよ」「こんな進路の先輩がいるよ」といったことを教えてもらっています。東京成徳大学の国際交流イベントなどを行う学生団体SIC*の活動も盛んなので、来年は自分も関わりたいと思っています。

* Students of International Club (SIC) 留学生との交流を目的にスピーチコンテスト運営、国際交流企画等に取り組み、さまざまな文化に触れながら語学力向上を目指す学生団体。



3人も「お世話になりました！」と声をそろえたグローバル教育センター水落さんと。

——留学中に心がけたことや、成長を実感できた部分はありますか？

中 オーストラリアは多文化な国で、人によって生活習慣や考え方はかなり異なります。その中で過ごしたからこそ、考え方の違いは受け入れやすくなりました。

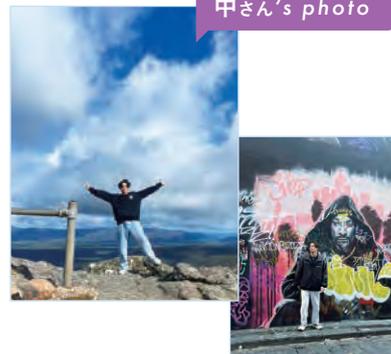
三井 失敗やミスを恐れずコミュニケーションを取ることです。例えばバスの





南極海に面した“グレート・オーシャン・ロード”や、芸術の街メルボルンならではのストリートアートなど、撮影スポットが豊富!

中さん's photo



行き先や乗り方が分からない時は、バス停で待っている人に聞いたり、お店でも店員さんに質問したり。スマホを使えばすぐに分かることでも積極的に人に聞いて話す時間をつくりました。

チェ 最初の頃は「下手な日本語を話すのは恥ずかしい」「正確な文法と単語を使わないと…」とちゅうちょして、会話のタイミングを逃したことが多かったように思います。でも、そうしている時間があったくないと気付いたことと、ありがたくも周囲から応援をたくさんいただいて、次第に「間違っても直せばいい」という肯定的な考えができるようになりました。だからといって今でも恥ずかしさがないわけではありませんが、挑戦することの価値が分かったので、以前より積極的に行動できるようになったと思います。

——チェさん、日本に留学してよかったことをぜひ教えてください。

チェ 日本人はとても優しく、配慮がありますね。特に東京成徳大学の皆

さんは留学生の私に声をかけてくれて、そこから会話に発展し、友達になることができました。一つひとつの出会いのおかげで日本の文化を経験できたことは最高の思い出です。

三井 チェさんはグローバル教育センター主催の韓国語講座「韓国語ラウンジ」で講師のサポートをしてくれたり、積極的に国際交流に関わっていただいていると聞きました。

チェ 韓国に興味を持っている日本人学生が多くうれしかったので、私で役に立てることがあればと思い協力させていただきました。楽しく韓国語を学んでもらえるための橋渡しができたかなと思っています。

——それは「成徳」、徳を成す行動でもありますね。とても素晴らしいことです。

——皆さんが留学で得た経験を、これから先のキャリアや人生にどのように生かしていきたいですか？

中 キャリアについてはこれからしっかり考えていきたいですが、将来的には他の国で働くことを目標にしています。せっかく身に付けた英語力を生かしたいですし、さらに新しい発見や経験をしたと思っています。

三井 私はANAのグランドスタッフとして内定をいただきました。日本の玄関口を担当するという気持ちで、学んできたことや留学で得たことを発揮したいです。また、カナダは第2の祖国のように大切な場所になったので、これからは旅行などで何度も行きたいですし、世界中にたくさん友達をつくりたいという夢

もできました。

チェ 日本のエンターテインメントに興味を持つようになり、日本で仕事をしてみたいという気持ちも芽生えています。今は日韓どちらで働く選択肢も取れるよう準備をしています。

——最後に、留学を考えている人へアドバイスをお願いします。

中 留学で得られることは数えきれないほどあります。事前の語学力などを含めて心配事は出てくると思いますが、とりあえず行ってみて大丈夫です！自分の力を信じ、自信を持って何事もチャレンジしてみてください。必ず成長につながると思います。

三井 留学に行ったから英語で話せるようになる、出会いがある、視野が広がる…というのではなく、留学という大きなチャンスの中でどのように行動したかで得られるものが大きく変わると思います。就職活動の際も「現地でどんなことをしたか？どう成長したか？」を重点的に聞かれましたね。そして伝えたいのは、人生は一度きり！ということ。間違えることや人と違うことが怖いと思わずに、世界中の人たちとコミュニケーションが取れる素晴らしさ、ワクワク感をぜひ味わってほしいです。

チェ 他国で生活をするというのは毎日が挑戦の連続です。その挑戦を楽しみながら、できるだけ多くの経験をしてほしいです。勉強もがんばって、日本のさまざまな行事にも行って、旅行もして…。自国ではやらないことにあえて挑戦することもいいと思います。後悔なく、楽しい留学生生活を過ごしてほしいですね。

三井さん's photo



イタリア人の友達との2ショット。大学のクラスや寮で多国籍な友人との出会いがたくさんありました。自然豊かで、建物も素敵で、トロントの街が大好きになりました。

留学生

interview

東京成徳では大学以外の各校でも留学生を受け入れています。

さまざまな国と地域から来日し、高校で受け入れている留学生の皆さんをご紹介します。

from



フィンランド



オスカリ ポッキ
Oskari Pokkiさん
中高一貫部5年(高2)

出身校:ヘルシンキ国際高校
留学期間:2023年4月~12月まで

留学先のカルチャーを受け入れ、楽しむことが大事!

アニメをきっかけに日本に興味を持ちました。フィンランドを飛び立つ際、ヘルシンキ国際空港で「ヘルシンキでの生活はいったん忘れよう」と心に決めました。違う国なのだから文化や考え方が異なるのは当然で、比較しても仕方がない。その国になじみ、ルールに従うことの方が大事だと思っていたからです。日本語は本当に難しく最初は苦戦しましたが、クラスメイトが積極的に英語で話しかけてくれて、体育祭や文化祭、部活などを通して親密になることができ、話せるようになりました。あと、学食は日本の方が圧倒的に安くておいしいです。特にカレーは最高!ここだけはつい比べてしまいます(笑)。

from



ウクライナ



ドゥブロフスカ ダリア
Dubrovskaya Dariaさん
中高一貫部4年(高1)

出身校:オブティマスクール
留学期間:2023年9月~

オープンな気持ちで行動・挑戦して後悔のない人生を!

留学の魅力は、居心地の良い場所で毎日同じことを繰り返す“コンフォートゾーン”から抜け出し、新しい挑戦、新しい経験、新しいスキルを得られることだと思います。私にとって日本語の教科書は難しく、弱気になった時期もありますが、友達とコミュニケーションを取ることでストレスが軽減し、留学プログラムを満喫できるようになりました。最近は勉強面で成績を上げることや、参加中のバレーボール部での活動に集中して取り組んでいます。留学希望の方へ。人生は一度きりなので、楽しみながら挑戦してね。ホストファミリーや学校の先生、友達など、周囲に頼ってOKです。良い経験ができますように。

from



メキシコ



ヘスス クロダ
Jesús Kurodaさん
中高一貫部4年(高1)

出身校:セディ アルファ エス
留学期間:2023年9月~2024年7月まで

その国ならではの社会性に適応し、自分の成長につなげたい

僕の4世代前の祖父が日本からの移住者で、父も日本への留学を経験していて…と、日本へのルーツが深く、自分も日本という国を知ってみたいという気持ちで留学しました。東京成徳の友達は皆優しくて、授業の内容もバラエティに富んでいて楽しい日々を過ごしていますが、文化の違いに戸惑うことも。メキシコは毎晩どこかでパーティがあるなど朝から晩まで街中がにぎやかですが、日本はルールを遵守する国民性もあるからか、全てが静かに感じます。その中で生活し、社会性なども考慮しながら自分をコントロールできるようになった一面もあります。次はアメリカに留学して、自分を成長させたいです。

pick up!

東京成徳大学中学校

“留学プログラム”

●セブ島短期留学 時期:中学2年3学期/期間:2週間

2週間で約80コマを1対1と3~4人の少人数クラスで実施。英語が公用語でネイティブスピーカーレベルの英語力を持つフィリピン人講師から生徒たちは寄り添った指導を受けることができます。教室と宿泊施設は同じ建物でセキュリティも厳重。3食が提供され、掃除、洗濯も定期的に実施されるなど、安心・安全な学習環境を確保、生徒たちは英語学習にとことん向き合うことができます。貧困や環境問題など、フィリピンの社会問題を考えるPBL*も組み込んでいます。週末に現場を訪れ、実際の状況を自分の目で見て、生活者の生の声を聞き、各自が自分の意見を英語でプレゼンする機会まで設けています。

※PBL(Project Based Learning):問題解決型学習、課題解決型学習



●ニュージーランド学期留学* 時期:中学3年3学期/期間:3学期の間

現地の第1学期である1月下旬~4月上旬、1つの現地校に本校生徒3名以内のルールのもと、1家庭に生徒1人のホームステイで留学に臨みます。親元を離れ、知らない世界に飛び込む生活は、生徒たちにさまざまな発見と体験を提供してくれます。何かに直面するたび、自分自身で物事を判断し解決しなければなりません、それは同時に、他者の協力なしに物事は解決できないことを実感することでもあります。周りに感謝する心を伴った自立体験こそ、留学生活が与えてくれる最大の成果。語学習得は大きな目的の一つですが、「自分の枠を広げる」というさらに大きな「お土産」を持ち帰ることが、15歳という吸収力のある時期の留学体験です。

※東京成徳大学深谷中学校も同時に参加しています。



DANCE!

特集 2

ENJOY!

SMILE!

MUSIC!

ART!

学園祭 REPORT

2023年度の学園祭も、各校大いに盛り上がりました。

学生たちがさまざまな趣向を凝らした

学園祭の様をお伝えします。

TOKYO SEITOKU FESTIVAL 2023

第57回

桐友祭

東京成徳大学 & 東京成徳短期大学

10.28 SAT/SUN
10.29

今年のテーマは

“祭”

4年間の集大成
最後は笑顔で!

Tokyo Seitoku University Tokyo Seitoku College



3

1. お笑いライブ後、芸人さんをお見送りする学園祭実行委員
2. ダンス部4年生はこの日で引退。このメンバーでの作品はこれが最後😭
3. アイドル研究会のユニドル「成徳ロマンス」の可憐なステージ👉



5

4. 1年生が作る甘くておいしいベビークステラ
5. 第3回グローバルスピーチコンテストを開催しました
6. オーディエンスを湧かす軽音サークルのバンド演奏🎸
7. 北区連携のパープル運動や子育て応援に取り組むハートフルママの学生たち👩🏻
8. 茶道部の卒業生にお点前披露中をバシヤリ🍵!!



9

何が出るかな?



10



12



11

MUSIC!



4

テーマの『祭』には、学園祭に学内外を問わず多くの方にご来場いただき、全ての参加学生が一体となって、協力しながら盛り上げようという思いが込められています。

音楽ライブやダンスなどのステージ発表、ワークショップ、展示販売などに加え、今年はずいぶんコロナ禍で中止していた模擬店の食品販売も4年ぶりに復活となりました。

大学時代に何かに一生懸命打ち込むことはとても素敵なことと感じた2日間。来場者も参加した学生も、笑顔のあふれる『祭』となりました。



6

かわいい
手作りのおもちゃ♪



7



8

9. 心理学をベースにした占い、それっぽいことを言われてビックリ👩🏻
10. 手話サークルはご来場者に優しく手話を教えていました
11. 吹奏楽サークル演奏会🎸ホールに響く生の音は迫力がスゴイ!
12. 短大ホームcomingでは、授業の成果や発行誌、卒業生のメッセージボード📝を展示



13



14

13. ご来場者をお迎えした正門🏯
14. ファッションショーで製作した衣装は、もしやあの推しのアイドル👩🏻!?

Tokyo Seitoku University High School



15



16



17



17



9.23
SAT/SUN
9.24

桐蔭祭

東京成徳大学高等学校
(高等部)

今年のテーマは

“かい さい せん げん”

開祭宣言

～誰もが心躍る祭りをここに～

- 15.書道部全員による書道パフォーマンス
ス ✍️ 16.Let's Enjoy Soccer!!サッカー部による子どもたち対象のサッカー教室🏆 17.校内にはカワイイ♥フォトスポットがたくさん! 18.体育館を熱気で包んだケイオンLIVE🎸 19.ジャングルクルーズ🌴へようこそ!いざ、動物探検と宝探しへ

『開祭宣言』には、今までに培ってきた団結力をもとにクラスや学年の壁を越え互いに協力し合おう、ご来場の方も心を躍らせ楽しんでいただける最高の文化祭にしようという思いを込めました。入学してから感染症対策が続き、行事もままならない学校生活を送ってきた3年生が、主体となって文化祭を盛り上げ、オープニングや後夜祭までずっと大盛況でした。

9.23
SAT/SUN
9.24

令和5年度

桐蔭祭

東京成徳大学中学・高等学校
(中高一貫部)

今年のテーマは

☀️

“回生”

実に5年ぶりに来場者を迎え入れ、入場制限なく文化祭を開催しました。生徒の大半がコロナ禍前の文化祭を知らないという状況でしたが、以前の文化祭を復活させ、後輩につなぎ、さらに良くしていきたいという願いが、テーマ『回生』に込められています。卒業生を含む多くの方に来場いただき、盛況のうちに文化祭を終えることができました。



20

- 20.戻ってきた私たちの文化祭!フェスは楽しまなきゃね 21.音楽が大好きな中高生たちの本気の演奏🎸を聴くことができました 22.高2生の授業成果展示。自分の作品は気になるよね😊 23.外はカリッ、中はふわとろ🍪 韓国で人気のチーズボール



21



22



23

Tokyo Seitoku University Junior & Senior High School

Tokyo Seitoku University Fukaya High School



24



26

Colorful!



第59回

桐蔭祭

9.9
SAT/SUN
9.10

東京成徳大学深谷高等学校

今年のテーマは

“**我らの青春は
ここにしかない!**”
～今いる仲間と共に～



25



27

24.おいしいホットドッグ🌭はいかがですか? 25.チアダンス部のステージ。ポンは可愛く、ファンクはカッコよく、ジャズは美しく! 26.空を彩る“スカイアンブレラ☂️”文化祭が華やかに 27.ユニバといえば東京成徳ユニバでしょ!あのテーマパーク🎡!?が深谷にキター

文化祭の2日間とも一般公開で開催し、昨年と比べ大規模に開催ができました。「我らの青春はここにしかない!」生徒たちは、多くの方々に支えられていることに感謝し、精いっぱい準備を進め、開催を迎えては最後まで楽しむ姿が見られました。ご来場の多くの皆さまにも、生徒の笑顔とともに、青春の1ページをご覧いただいた2日間となりました。

11.25
SAT

第11回

桐蔭祭

東京成徳大学深谷中学校



28



29

DANCE!



30

3年生が主体となり、学習発表会や合唱、ダンス発表、美術作品・自由研究の展示など、1~3年生の全学年が協力して準備を進めました。当日の司会進行も3年生が務め、堂々と進行する姿が素晴らしかったです。保護者をはじめとする来場者が見守る中、全学年の生徒が大いに力を発揮する様子が見られました。

28.生徒が作成した掲示物 29.1年生学習発表は多種多様な内容で興味深かったです👍 30.ダンス部による見事なダンス発表👏

Tokyo Seitoku University Fukaya Junior High School

東京成徳大学 国際学部

1年生がアメリカ、韓国での海外留学に出発

本年4月に入学した国際学科の1年生は前期の学修カリキュラムと留学準備の忙しい日々を無事に終え、8月から9月にアメリカおよび韓国の各留学先に出発しました。留学先の内訳は、アメリカ Cascadia College 3名、Green River College 11名、オーストラリア Deakin University 15名、韓国の慶熙大学 8名、漢陽大学 15名、建国大学 8名です。学生たちが各留学先で語学力を着実に向上させるとともに、現地学生、留学生、ホストファミリーなどさまざまな人々との触れ合いを通じて1年後に成長して帰国することを期待しています。

国際学部長 芳賀 克彦



東京成徳大学 子ども学部



1年生 檜原村にて「学外研修」

9月4日、1年生137名が東京都の離島を除く唯一の村である檜原村にて学外研修を行いました。檜原村は人口2,005人、村の93%が森林という緑豊かな里山です。大学出発時には大雨でしたが、昼過ぎには青空が広がり、森林散策、檜原森のおもちゃ美術館の見学と研修、檜原村の木材を使った“森のチャーム作り”、林業家（東京チェーンソー）の指導の下、チェーンソーで丸太切り体験など、多様な活動に取り組みました。地元の食材を使ったおいしいお弁当、野生の猿との出会い、豊かな森林と環境を守る人々や木の玩具に触れ自然との共生の大切さを体感し、「楽しかった」「また行きたい」「ボランティアをしたい」など前向きな感想が聞かれ、有意義な1日を過ごしました。

子ども学部教授 善本 眞弓

東京成徳大学 経営学部

現代ビジネス講座

経営学部の現代ビジネス講座は、「社長講演」、中小企業診断士による「様々なビジネス紹介」、「ビジネス・パーソンとして知っておきたい事項」などの講演で構成されています。2023年度前期は、社長講演について金融業界をテーマに様々な講師をお呼びすることができました。5月23日にはセブン銀行の代表取締役会長の舟竹泰昭氏にご登壇いただき、一般の銀行とはかなり異なったセブン銀行のビジネス・モデル、今後の事業戦略などについて、お話を伺いました。後期はエンターテインメント業界に関するテーマを軸に進行しています。



副学長・経営学部長 村山 純

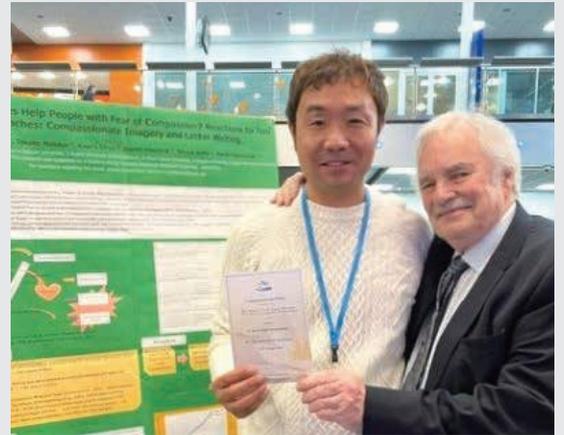
応用心理学部

東京成徳大学 臨床心理学科

国際学会で最優秀発表賞を受賞

2023年10月9日～12日、イギリスのバーミンガムでコンパッション・フォーカスト・セラピーの第12回国際会議が開催され、世界各国から100名以上の参加者が集まりました。石村郁夫准教授は、この国際会議にてこれまで取り組んできた研究成果についてポスター発表を行い、最も優れた発表として高く評価され「1st Prize」最優秀発表賞を受賞しました。石村郁夫准教授は、コンパッション・トレーニングでうまく効果を得られない人を対象にどのように工夫したら良いのかに関して、科学研究費助成事業（基盤研究B）に採択され、研究に取り組んできました。最先端の国際会議での快挙は、我が国の臨床心理学や心理療法の発展に貢献するものです。

臨床心理学科長 一谷 幸男



応用心理学部

東京成徳大学 健康・スポーツ心理学科



学科懇親スポーツイベントを開催しました

9月11日（月）、学科懇親スポーツイベントを開催しました。イベントでは、マネジメントチーム（2年生必修科目「基礎ゼミⅢ」佐々木助教クラス）が考案した3つのオリジナル種目を実施しました。ベースとなるスポーツは、私たちにとって親しみのあるキックベース、バレーボール、ドッジボールでしたが、ニュースポーツのひとつである「キンボール」の巨大ボール（直径122cm、重さ1kg）を導入することにより、ゲーム性を大きく変化させました。入念な計画やリハーサルによるルールや難易度調整のいかもあり、参加者は時間を忘れてゲームに熱中し、交流を深めることができました。

健康・スポーツ心理学科助教 佐々木 文子

東京成徳大学大学院 心理学研究科

プロの心理カウンセラーを育てています

カウンセリングは、通常、言葉を媒体として行われますが、言葉では表現しきれない心の問題を抱えている人もいます。「箱庭療法」（写真は授業風景）は、言葉には表せない心の世界を箱庭の中に象徴的に表現して、それを通じて心の問題を扱うことができます。修士課程の大学院生は、2年間の学びを終えると、それぞれの臨床の場に出ていき、そこに訪れる心理支援を必要とする人に、できうる限りのサポートをしていくこととなります。心の問題の抱え方は、人それぞれです。大学院では、支援を必要とする人に合ったアプローチを提供できる心理カウンセラーのプロフェッショナルを育てています。

心理学研究科教授 井上 忠典



東京成徳短期大学

近隣園の見学

11月8日(水)の教職実践演習の授業で、2年生は近隣の協力園の6園をグループで見学しました。聖母の騎士保育園では、本学を21年前に卒業された先生から、園の運営や保育内容についてお話いただいた後、子どもの様子や環境・作品等を見学しました。教育・保育実習とは異なった視点から、園や子どもの様子を見ることで、実習では気が付かなかった先生方の指導や場所の使い方等に気が付き、メモを取り真剣に学ぶ様子が見られました。先輩とのうれいつながりを感じながら学ぶこともできました。また、事後の学習では、見学を通して自分自身の課題に気が付き学び合う時間も持ちました。

近隣の協力園のおかげで、実践を通した深い学びが実現できています。

幼児教育科教授 大澤 洋美



東京成徳大学中学・高等学校 中高一貫部



中学スポーツ大会・高校球技大会

11月2日(木)に中学スポーツ大会・高校球技大会が行われました。中学生と高校生は共に、生徒会スタッフが準備を進め、種目やタイムテーブルを計画して実施しています。

中学スポーツ大会は、赤羽体育館を初めて使用して開催しました。中学3年生を中心とした学校行事を行うことにより、1・2年生を牽引していく良い機会となりました。同時に12月の合唱祭に向け、団体意識を高める場となったように感じます。

高校球技大会は、高校3年生にとって受験前最後の行事となりました。慣れた様子で競技をこなし、成長した様子を再認識することができました。

生徒指導部課長 鈴木 佳大

東京成徳大学高等学校 高等部

高等部語学研修

2023年8月にオーストラリアおよびシンガポールにて5名が語学研修を行いました。昨年度とは異なり、現地到着後はホームステイの形を取り、なるべく多く英語に触れられる機会を持つことができました。初めて1人で外国に行くという経験や、ネイティブの英語についていけるかという不安でいっぱいだった生徒たちでしたが、現地ではその殻を破り、新しくできた現地の友人やおのおののホストファミリーと一生懸命英語でコミュニケーションを取る姿が印象的でした。

帰国後、より一層英語学習に力を入れ、長期留学を目指す生徒もいるほどで、良い機会になったと感じています。

高等部教諭 越山 恵梨菜



東京成徳大学深谷中学・高等学校 中高一貫コース

イングリッシュキャンプ

8月2日(水)から4日(金)までの3日間、中学生全学年を対象に、会話全てを英語のみで行うイングリッシュキャンプが実施されました。今年のテーマは、「SDGs」。テーマに合わせて、今年は全てペーパーレスで行われました。初日はSDGsとは何かを学び、スパゲティの乾麺を使ってマシュマロをいかに高い位置に置けるかを競う「スパゲティチャレンジ」で交流を深めました。2日目には4班に分かれて準備を進め、最終日には、2030年までに達成すべき基本的な17の目標の中から、各班が選んだ目標について3日間で調べたり考えたりした成果をパフォーマンスしました。

中高一貫コース長 川瀬 貴恵



東京成徳大学深谷高等学校



関西修学旅行

2年生進学・進学選抜・特進Sの3コース生が、11月13日(月)から2班に分かれて、3泊4日で奈良・大阪・京都の修学旅行に行ってきました。本来ならば、海外(オーストラリア)修学旅行ですが、コロナ禍の影響で今年度も国内での修学旅行となりました。1日目は東大寺を見学後、奈良公園周辺の班別自由行動。2日目はユニバーサル・スタジオ・ジャパンでの自由行動。3日目は京都市内をタクシーを利用した班別自由行動。4日目は北野天満宮への昇殿参拝と清水焼の絵付け体験および清水寺参拝でした。自由行動中に会った外国人観光客と会話を楽しんだり、クラスメイトとの絆を深めたりと有意義な修学旅行でした。

第2学年主任 山田 淳一

成徳幼稚園

秋の運動会

10月22日(日)さわやかな秋晴れの天気のもと、運動会を実施しました。高等部の広々としたグラウンドを使用し、今年は4年ぶりとなる全園児による開催となりました。

子どもたちは日頃の練習の成果を発揮し、かけっこや遊戯に、一人ひとりが元気いっぱい学年ごとの競技をがんばり、楽しい思い出となりました。特に年長組の子どもたちは、クラス対抗リレーやパラバルーン、マスゲームと盛りだくさんの出番に参加し、自信にあふれた笑顔がとても印象的でした。また、子どもたちの競技にたくさんの応援や拍手があり、保護者の皆さまに我が子の成長を感じていただくことができた、とても素晴らしい運動会になりました。

教頭 梶山 久美子





「人の役に立ちたい！」

その気持ちで実家の和菓子屋を継承。
失敗を恐れず、新しいことに挑戦したい。

有限会社 岡埜本店
6代目女将

榎 萌美さん

SAKAKI MOEMI

東京成徳大学深谷高等学校 普通科(進学コース)
2013年3月卒業

東京成徳大学深谷高等学校を卒業後、明星大学教育学部へ。20歳の時に大学を中退し、創業136年と歴史ある実家の和菓子屋「五穀祭菓をかの」に入社。1年目からヒット商品「葛きんぐでい」を開発し、副社長に就任。SNSでの発信や各地でのポップアップストア展開、個人ブランド「萌え木」設立など、和菓子の可能性を追求するさまざまな挑戦を行っている。

地域や商店街の人、友達、先生… 人に恵まれながら育った学生時代

「いらっしゃいませ！お団子ですか？」「萌美ちゃん、今日もお手伝いしてえらいねえ」幼少期の私は、実家である和菓子屋「をかの」の従業員さんや商店街の人たちに囲まれて育ちました。多忙な両親に代わって店番をすることもあり、地域に住む人はみんな顔見知り。だからこのお店と街が私の原風景です。

進学した東京成徳大学深谷高等学校でも人に恵まれ、親身になってくれる友達に支えられました。こういった環境だったから、気付いたら「将来は人のためになることをしたい」と思うように。ただ、勉強は得意ではなく、自信がないから外見を取り繕って制服やメイクをギャル風にすることで自分を正当化したりと、先生方を困らせることも多くて(笑)。そんな中でもずっと私を気にかけてくれた担任の先生の影響で、「教師の道に進んでみよう」と考えるようになりました。

晴れて大学生となったのですが、勉強の難しさに加え、

周囲との価値観の違いに悩むことが増え、さらに母が倒れて入院するなど落ち着かない日々が続いていました。そんな時、昔からの知り合いに「お店は継がないの？小さい頃に“将来は女将になる”って言っていたよね」と声をかけられて。ハッとしました。私が継げば、家族はもちろん従業員やお客さんの役に立って、「人のためになる」という目標をかなえることができる——。当時20歳。大きな決断でしたが、新たな一歩を踏み出しました。

開発した「葛きんぐでい」が大ヒット。 新人女将としての葛藤の日々

女将として業務をスタートした当初、経営は思ったようにはいきませんでした。店の帳簿を見せてもらうと、ずっと赤字だったことが発覚。経営を立て直そうと、葛をアイスのように凍らせた「葛きんぐでい」を商品化したところ、なんと大ヒット商品に。しかし喜びもつかの間、あまりに大量の注文が来てしまって製造が追い付かず、現場は大混乱に。結局職人さんや従業員数名が辞めてしまい

東京成徳学園で学ぶ皆さんへメッセージ

お店でアルバイトをしてくれているスタッフや学生さんと話していると「将来の夢が見つからない」という悩みを聞きます。情報が多い時代なので、成功してキラキラしている人と自分を比べて、決断することをちゅうちょしてしまっているのかもしれませんが。思いかえすと、私自身も誰かと比べてたり何かを否定しそうなった時って、心の中で「失敗が怖くてできなかったけど、本当はやりたかった」と思っていることが多かったように思います。そうやって諦めるのって本当にもったいない。「無理だ」と言われても、行動してきたからこそ今の私があります。気付いたら、私の挑戦を応援してくれる人が増え、心強い仲間にも囲まれながら過ごしていきます。今の自分が一番好き。今が一番幸せ。そう思える選択をしていけたらいいですね。

“自分の好きな自分でいる。”何か行動しようと思った時、「この自分は嫌いだな」と思うのか、「この自分は好きだな」と思えるかは1つの判断基準です。特に他人の目が気になりすぎた時は要注意。一度立ち止まって、自分が自分を好きかどうか？を問いたですようにしています。



葛粉を凍らせたアイス「葛きやんでい」。多くの和菓子屋でも取り扱っているが、「をかの」でのヒットが火付け役となって人気に。



ました。知り合いに心ないことを言われたり、ネットで叩かれたりしたことも…。

でも、当店の「葛きやんでい」が注目されたことで同業である和菓子屋さんの同商品も注目されるようになり、「ありがとう」といった反響があったのです。「こんな私に“ありがとう”って言ってくれる人もいるんだ」と思うと涙が止まりませんでした。

次のチャレンジは、

「街を元気にして、もっと多くの人になること」

手作りのチラシをポスティングしたり、新商品開発をしたりといった日々の中で、私のこれまでの取り組みがTVなどで取り上げられることも増え、お店も活気を取り戻しました。飛行機や新幹線を使って遠方から来て下さる方もいるほど。本当にうれしいです。渋谷や銀座、大阪の梅田などでポップアップストアを開催したり、講演会の出演依頼もいただくようになり、全国を飛び回っています。

一方で、私の原点である生まれ育った街や店舗周辺の商

店街を見ると、空店舗が増えて人通りもまばら。大好きだったこの街が、あの頃のように明るい雰囲気を取り戻せないか…。そんな思いで、政治の世界にチャレンジする決意をしました*。もっと、もっと多くの人になれる自分になりたい——。私の夢は、始まったばかりです。

体育祭でのクラスの集合写真。当時の同級生とは今でも連絡を取ったり、担任の先生に会いに行ったりと交流があります。



埼玉県桶川市にある「五穀祭菓をかの」。1887年（明治20年）創業の老舗和菓子屋で、本店、おけがわメイン店の2店舗を展開中。

*この取材の約2か月後、2023年11月19日の桶川市議会議員選挙で榊さんは見事トップ当選されました。おめでとうございます。

● 東京成徳大学

男子バスケットボール部 BASKETBALL

第72回 関東大学バスケットボール選手権大会 トーナメント3回戦
第99回 関東大学バスケットボールリーグ戦
2部-10位(7勝15敗)/2部-3部入替戦-3部降格(1勝2敗)

女子バスケットボール部 BASKETBALL

第57回 関東大学女子バスケットボール選手権大会 トーナメント1回戦
第73回 関東大学女子バスケットボールリーグ戦
4部-Aブロック5位(4勝3敗)

ダンス部 DANCE

第35回 全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸) 参加発表部門出場

● 東京成徳大学高等学校 (主に都ベスト16以上)

硬式野球部 BASEBALL

令和5年度 春季東京都高等学校野球大会 ベスト8

男子サッカー部 SOCCER

第102回 全国高等学校サッカー選手権大会 東京都2次予選
Bブロック-ベスト16

男子バスケットボール部 BASKETBALL

令和5年度 東京都高等学校男子バスケットボール春季大会 ベスト16

女子バスケットボール部 BASKETBALL

令和5年度 東京都高等学校女子バスケットボール春季大会 準優勝
第77回 関東高等学校女子バスケットボール選手権大会 Aブロック-ベスト8
令和5年度 東京都高等学校総合体育大会 準優勝 全国
令和5年度 全国高等学校総合体育大会(インターハイ2023) 出場

女子バレーボール部 VOLLEYBALL

第71回 東京私立中学高等学校男女バレーボール大会
高校女子の部-ベスト16
令和5年度 東京都夏季大会 Bブロック-優勝

女子ソフトボール部 SOFTBALL

令和5年度 東京都高等学校女子ソフトボール春季大会 ベスト16

バトントワリング部 BATON TWIRLING

第43回 バトントワリング東京都大会
コンテストの部 学校部門 高等学校の部 バトン編成 金賞 関東

卓球部 TABLE TENNIS

令和5年度 東京都高等学校春季卓球大会 男子団体-ベスト16
令和5年度 東京都高等学校総合体育大会 女子団体 Aクラス-ベスト8

水泳部 SWIMMING

令和5年度 東京都高等学校春季水泳競技大会
男子:200m背泳ぎ-6位(高2)/400m自由形-7位(高3)
4x100mメドレーリレー-8位(高3-2名、高2-1名、高1-1名)
4x100mフリーリレー-10位(高3-3名、高2-1名)
女子:200m自由形-8位(高1)、11位(高2)、12位(高2)/400m自由形-3位(高1)
4x100mフリーリレー-8位(高2-2名、高1-2名)
令和5年度 東京都高等学校選手権水泳競技大会
男子:1500m自由形-9位(高3)/400m自由形-14位(高3)
400mフリーリレー-10位(高3-3名、高2-1名)
400mメドレーリレー-11位(高3-2名、高2-2名)
女子:400m自由形-6位(高1) 関東/800m自由形-4位(高1) 関東
400mフリーリレー-8位(高2-2名、高1-2名) 関東
800mフリーリレー-7位(高2-2名、高1-2名) 関東
400mメドレーリレー-13位(高2-1名、高1-3名)

令和5年度 東京都高等学校新人水泳競技大会
男子:100m-16位(高2)/200m個人メドレー-12位(高1)
4x50mメドレーリレー-14位(高2-1名、高1-3名)
4x100mフリーリレー-11位(高2-2名、高1-2名)
女子:50mバタフライ-16位(高2)/100m自由形-9位(高2)
400m自由形-6位(高1)/学校対抗-8位
200m個人メドレー-9位(高1)、15位(高1)
4x50mメドレーリレー-11位(高2-2名、高1-2名)
4x100mフリーリレー-6位(高2-2名、高1-2名)

陸上競技部 TRACK AND FIELD

令和5年度 東京都高等学校総合体育大会/
第76回 東京都高等学校陸上競技対校選手権大会
男子:砲丸投げ-5位(高3) 関東/やり投げ-6位(高2) 関東
ハンマー投げ-9位(高3)/三段跳び-14位(高3)
女子:ハンマー投げ-2位(高3) 関東、10位(高2) 関東、円盤投げ-7位(高3)
令和5年度 関東高等学校陸上競技大会(南関東大会)
男子:やり投げ-17位(高2)/砲丸投げ-19位(高3)
女子:ハンマー投げ-11位(高3)

第75回 東京都高等学校新人陸上競技対校選手権大会
男子:やり投げ-4位(高2) 関東、8位(高2)、10位(高2)/ハンマー投げ-14位(高1)
女子:ハンマー投げ-5位(高2)、11位(高2)、12位(高1)/5000m競歩-8位(高1)
円盤投げ-9位(高1)/三段跳び-11位(高2)/走幅跳び-16位(高2)

ラクロス部(中高女子ラクロス) LACROSSE

第16回 中学女子ラクロス春季関東大会 優勝(大会MVP(高1)選出)
第25回 関東女子中高生ラクロスリーグ戦(Teen's Cup 2023) 優勝

演劇部 THEATRICALS

令和5年度 城東地区朗読劇コンクール 優良賞
令和5年度 城東地区新人デビューフェスティバル 優秀賞(生徒審査賞第1位)
令和5年度 東京都高等学校文化祭演劇部門地区大会 城東地区A日程-奨励賞

● 東京成徳大学深谷高等学校 (県ベスト16以上)

サッカー部 SOCCER

令和5年度 関東高等学校サッカー大会埼玉県予選 3位

パワーリフティング部 POWER LIFTING

第41回 全日本高等学校パワーリフティング選手権大会
男子:74kg級-9位(高1)
女子:47kg級-準優勝(高3)/52kg級-6位(高2)
63kg級-準優勝(高2)、5位(高2)/69kg級-準優勝(高3)
SUB-JUNIOR&JUNIOR WORLD POWERLIFTING 2023
女子:47kg級-9位(高3)/63kg級-11位(高2)/69kg級-12位(高3)

弓道部 KYUDO

第27回 埼玉県高等学校遠的選手権大会 女子の部 -6位(高3)
令和5年度 埼玉県弓道連盟国体選手選考会 女子の部 -8位(高3)
令和5年度 埼玉県学校総合体育大会 男子の部 -4位(高2)
令和5年度 埼玉県高等学校遠的大会/
第25回 紫灘旗全国高校遠的弓道大会埼玉県予選会 男子団体-3位
令和5年度 関東高等学校個人選手権選抜大会埼玉県予選
女子の部 -6位(高2) 関東、8位(高2) 関東

卓球部 TABLE TENNIS

令和5年度 関東高等学校卓球大会埼玉県予選会 男子学校対抗-ベスト16
令和5年度 全国高等学校総合体育大会卓球競技埼玉県予選会
男子学校対抗-ベスト16
埼玉県ジュニア高等学校学年別強化卓球大会
男子2年生の部-ベスト16(高2)/男子1年生の部-ベスト16(高1-2名)

陸上競技部 TRACK AND FIELD

令和5年度 埼玉県学校総合体育大会 女子やり投げ-8位(高2)、11位(高3)
令和5年度 埼玉県高校新人陸上競技大会 女子やり投げ-5位(高2) 関東

● 東京成徳大学中学校 (都ベスト16以上)

女子バスケットボール部 BASKETBALL

第62回 東京都中学校総合体育大会/
第76回 東京都中学校バスケットボール選手権大会 ベスト16
令和5年度 東京都U15バスケットボール選手権大会 ベスト16

ラクロス部(中高女子ラクロス) LACROSSE

(東京成徳大学高等学校のラクロス部参照)

Student's Voice



今を輝く、東京成徳の学生たちの声をお届けします。

内定者 Voice

大学生活での経験を糧に、
これからは地域に貢献していきたい。



東京成徳大学
経営学部 経営学科 4年
吉池 凱さん

内定先 ▶ **東京シティ信用金庫**

アルバイトでの経験から、将来は地域に根差した仕事に就きたいと考えるようになり、信用金庫で働くことを決めました。コロナ禍での就職活動で苦労することもありましたが、キャリア支援課の方々に相談する中で、自分自身の強みなどそれまで気付けなかった部分を明確にできたことが進路決定につながったと感じています。



写真サークルに所属し、桐友祭に撮影スタッフとして参加したことが一番の思い出

課外活動 Voice

障がいの有無に関わらず、多くの人と一緒に楽しめる社会づくりへの第1歩。

東京成徳大学
応用心理学部 臨床心理学科 3年
上城 文馨さん

サークル ▶ **手話サークル**

私たち手話サークルは「楽しみながら学ぶ」をモットーに活動しています。ほぼ全員が手話未経験のため、まずは指文字を覚えていき、徐々に手話表現を調べながら伝言ゲームやしりとりなどの遊びを通して手話を学んでいます。多くの人と一緒に楽しめる社会にするために、これからも



障がいに関する知識と理解を深めていきたいです。

学年や男女問わず、和気あいあいとした雰囲気です。



内定者 Voice

夢をかなえた今、次の目標は
航空業界の発展に尽力すること。

東京成徳大学
国際学部 国際学科 4年
川畑 奏良さん



内定先 ▶ **株式会社JAL
グランドサービス**

幼い頃からの夢である航空業界への就職を目指して、大学在学中に韓国留学を経験しました。留学中は異文化理解を深めることができ、帰国後も卒にとらわれず人脈を広げることを意識していました。キャリア支援課の方々にエントリーシートの添削や面接練習など親身になってサポートし



ていただき、無事に内定をいただくことができました。

軽音サークルではバンド「who?」のメンバーとして桐友祭のライブにも参加

内定者 Voice

支えてくれた方々への感謝を忘れずに、
広く深く市政に携わっていきたい。



東京成徳大学
応用心理学部 臨床心理学科 4年
中村 響亮さん

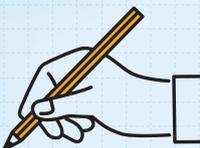
内定先 ▶ **川口市役所**

「自身が育った街で教育事業に携わりたい」という思いから市役所で働くことを決め、大学2年から公務員志望者のための学内講座を受講していました。キャリア支援課の青木さんとの定期的な面談や的確なアドバイスのおかげで、常に今やるべき課題に集中して取り組むことができました。青木さんのサポートがあつての内定だと感謝しています。

いつも親身にサポートしてくれた、キャリア支援課の青木さんと



Enjoy campus & school life





学園の動き

各校から周年を記念したさまざまな取り組みをご紹介します。

東京成徳大学

30周年記念ロゴマークを制作しました

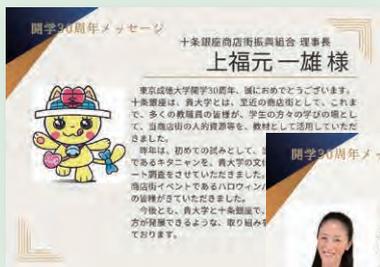
大学開学30周年を祝して、大学の一体感を作る記念ロゴマークを、子ども学部「図画工作科指導法」の受講学生の協力のもと制作しました。大学を通じて、友人や地域、社会、外国と広く“つながる”という思いを込め、「30」の中に多様性を示す異なる色と複数の特徴的な図形を描きました。また30年間で多くの卒業生、在籍生、教職員に受け継がれたものに思いを巡らせ、関わった人々もまた十人十色である良さ、美しさも表しています。

ロゴマークのモニュメントが学内に飾られ、10月末の学園祭来場者にもご覧いただくなど、多くの方と大学開学30周年を祝う雰囲気が感じられます。

学内に飾られたモニュメントは、表紙をご覧ください。



「図画工作科指導法」受講学生の皆さんと
吉田学長、藤田准教授



30周年のお祝いメッセージをいただきました

開学30周年に寄せた祝辞を、大学所在地である東京都北区のやまだ加奈子北区長、最寄り駅の十条駅すぐにある十条銀座商店街より上福元一雄理事長など、地域の皆さま、卒業生、在籍していた教員の方々から数多くいただきました。皆さまのメッセージは30周年特設サイトでご覧いただけます。



会場：東京キャンパス(十条) 檜の木ホール

30周年を記念した吹奏楽コンサートを開催しました

2023年8月に、大学開学30周年を記念し、本学吹奏楽サークル「SSS」と東京家政大学「吹奏楽サークル」共演による吹奏楽サマーコンサートを開催しました。各大学で2曲、合同で2曲とアンコール曲を披露し、両校の息の合った演奏に観客は手拍子で応えていました。

大学HPで
30周年特設サイトを
公開しています



30th

東京成徳大学深谷高等学校

&

東京成徳大学深谷中学校

60th
& 10th

高等学校創立60周年・中学校創立10周年記念式典を開催しました

2023年10月25日に開催した高校60周年・中学10周年の記念式典は、多くの来賓をお迎えして行い、盛会のうちに終了しました。代表生徒として登壇した高校生生徒会長「感謝の言葉」から、安心した学校生活と充実した高校生活が伝わりました。しっかりと歌い上げられた校歌斉唱は、大変な迫力に感動を覚え、生徒・教職員の学校への熱い思いを感じた瞬間でした。本校は、1963年の高校開校以来、地域や時代の要請に応えながら、充実・発展を続けています。中高一貫教育も中学開校から10年。中高共により一層の充実に向け、努めてまいります。



高校創立60周年・
中学創立10周年記念誌



70th

成徳幼稚園

ホームページをリニューアルしました

開園70周年を記念し、ホームページを刷新しました。在園児の保護者様にご協力いただき、本園の魅力を再発見するとともに、就園前のご家庭が必要とする情報を整理し、新たにまとめました。

日頃の園児の様子もブログでご覧いただけます。皆さまどうぞご覧ください。

幼稚園HPはこちら



東京成徳学園

創立100周年事業準備室を組織しました

2026年の学園創立100周年にあたり、東京成徳学園創立100周年事業準備室を組織しました。東京成徳学園のさらなる発展に向け、記念事業の計画、推進をしております。

計画・推進中の学園創立100周年記念事業

- 100周年記念ロゴマーク制作
- 100周年記念特設サイト（2023年11月26日サイトオープン）
- 卒業生交流プラットフォーム「東京成徳ネットワーク（TS-network）」開設（2024年1月運用スタート）
- 100周年記念式典の開催

このほか、皆さまと一緒に東京成徳学園100周年を迎えるべく、記念事業を計画し推進しております。皆さまどうぞご期待ください。

100周年記念ロゴマークが完成しました

今までの100年からこれからの100年へと東京成徳学園がさらに大きく飛躍・飛翔していくイメージから

着想を得て、羽ばたく鳥の翼をモチーフに、未来へ向かって羽ばたく学園の姿を表現しています。



100周年記念特設サイトを
オープンしました



成徳幼稚園が『2023年度グッドデザイン賞』を受賞しました

学校法人東京成徳学園は、株式会社三菱地所設計と共に、2022年1月に竣工した成徳幼稚園において、2023年度グッドデザイン賞を受賞しました。

グッドデザイン賞とは

「グッドデザイン賞」は、1957年に旧通商産業省によって設立された「グッドデザイン商品選定制度」（通称Gマーク制度）を継承する、日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。単にものの美しさを競うのではなく、産業の発展とくらしの質を高めるデザインを、身の回りのさまざまな分野から見だし、広く伝えることを目的としています。世界でも有数の規模と実績を誇るデザイン賞として、国内外の多くの企業やデザイナーが参加するとともに、よいデザインを社会に広める運動としても多くの人びとから支持されています。



グッドデザイン賞 GOOD DESIGN AWARD
ホームページ <https://www.g-mark.org>



大学院 心理学研究科 石隈利紀科長が 中華本土社会科学会の『海外名誉会員』を授与されました

2023年11月3～5日に、彰化師範大学で開催された中華本土社会科学会主催の“The 7th International Indigenous Counseling Psychology Conference”において、石隈利紀教授が「海外名誉会員」を授与されました。今回の授与は、長年の学校心理学における日本での研究業績と、台湾と日本との交流の促進を評価されたものです。

応用心理学部 臨床心理学科 石村郁夫准教授が 国際会議で『最優秀発表賞』を受賞しました



2023年10月に石村郁夫准教授が国際会議で「最優秀発表賞」を受賞しました。詳しくは本号P.12の応用心理学部 臨床心理学科TOPICSをご覧ください。

東京成徳大学中学・高等学校が 王子消防署より感謝状を授与されました



9月9日の救急の日にあたり、本校に対して東京消防庁王子消防署より「救急救命の普及に貢献した」として、感謝状をいただきました。

学園人事 2023年(令和5年)5月～10月

※()は前任

採用	大森 虎之介 BAIN MARK LAURENCE 大串 彩規子 井門 久美 足立 久実 青石 清楓 CHALKLEY TALIESIN ELLIOT 井伏 紀文	東京成徳大学中学・高等学校 東京成徳大学中学・高等学校 東京成徳大学 東京成徳大学 東京成徳大学中学・高等学校 東京成徳大学中学・高等学校 東京成徳大学中学・高等学校 東京成徳大学中学・高等学校 東京成徳大学 東京成徳大学	専任講師 専任講師 教務課 学修支援課 事務部 事務部 JET・ALT 法人事務局
退職	上原 紗綾子 古田 ゆかり MOSLER TALIESIN THOMAS 田村 千恵美 山田 将之 奥田 泰章 小澤 恭子 杉浦 あゆみ GORDON ANDREW DAVID 石川 明	東京成徳大学 東京成徳大学中学・高等学校 東京成徳大学中学・高等学校 東京成徳大学 東京成徳大学 東京成徳大学中学・高等学校 東京成徳大学中学・高等学校 東京成徳大学中学・高等学校 東京成徳大学中学・高等学校 東京成徳大学深谷中学・高等学校	国際学部国際学科助教 教諭 専任講師 学修支援課主任 施設課主任 事務部施設課長 事務部主任 事務部主任 JET・ALT 事務部事務長
異動	前田 幸代	東京成徳大学中学・高等学校	事務部主任(法人事務局総務課主任)
訃報	中園崇先生(東京成徳短期大学名誉教授、元幼児教育科長) 令和5年3月11日ご逝去 享年96歳 ここに先生のご貢献、ご業績を偲び、心よりご冥福をお祈り申し上げます。		

表紙について

大学開学30周年記念ロゴマーク モニュメントの前で



東京成徳大学開学30周年の記念ロゴマークのモニュメント前で撮影しました。このロゴマークは学生によりデザインされ、モニュメントも学生たちの手で制作されています。日本社会の国際化、情報化、高齢化社会の多様な要請に応えられる人材の養成を掲げ、1993年に1学部3学科で開学した東京成徳大学は、スタートから30年、学部学科再編にも取り組み、現在は東京都北区を所在地とする4学部5学科の大学となりました。

東京成徳学園の先生は、日々専門の研究に取り組んでいます。先生方に研究テーマと研究への思いを、お話しいただきました。

大学・短期大学HPにも各教員の紹介を掲載しています。
下記の各QRコードからぜひご覧ください。



今、私にしかできない研究課題を見つけ出したとき、そこからさらに日々の努力が論文などの形として公表できたとき、安堵感とともに、研究者としてのやりがいを感じます。



教員の
紹介は
こちら



東北学院大学で実施された「アジア流域文化研究所公開講演会」の登壇写真

東アジアにおける多国間主義の展開

李正勳 先生 LEE Junghoon

東京成徳大学 国際学部 国際学科 准教授

冷戦時代の東アジア国際政治の変容や特徴、背景について、主に関係国の外交資料を活用し多角的な観点から考察を行っています。デタント時代の安全保障環境や同盟関係の変化を主軸に、諸国間の多国間主義の形成や展開、間主観的な関係性について、歴史的コンテキストに立ち総合的に解明しようとしています。



著書ほか、これまでの研究業績

近代日本における保育カリキュラム実践と保育者養成に関する比較教育史的研究

永井 優美 先生 NAGAI Yumi

東京成徳短期大学 幼児教育科 准教授

私が事例として扱ってきたキリスト教系保育では、戦前期にアメリカ人女性宣教師らによって、当時は珍しい専門性の高い保育者養成が行われ、アメリカ直輸入の保育カリキュラム実践が実施されていました。私自身、彼女たちから感化され、保育者の力量形成のあり方について日々追求し、自己の保育者養成実践に活かしています。



博士論文を風間書房から
2016年に出版

研究的志向を持つ保育者を養成しようと奮闘したアメリカ人女性宣教師らに学び、学生たちが将来、自ら研究し、保育実践を創出していくことができるように、その土台を育みたいと考えています。



共著:大正新教育・幼児教育史関係の研究



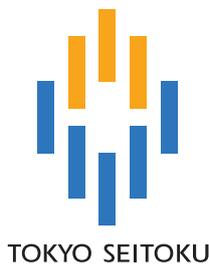
教員の
紹介は
こちら

私たちは約束します。

ブランド・ステートメント

多様性の中で共生し、
新たな自分を発見するとともに、
自らの信念をもって
未来をデザインする人材を育成します。

グローバル化が加速する現代社会では、人種や国籍、宗教、性別、価値観などの多様性を受け入れ、必要な助け合いをしながら生きていく共生を、学問や経験を通して学ぶことが大切です。この学びや経験を通じて、これまでの殻を打ち破る新しい自分の使命や役割を探り当て、確固たる自分自身の信念のもと、自分の未来、自分たちの社会の未来を描き、切り拓いていく人材を、東京成徳では育成します。



TOKYO SEITOKU

学校法人 東京成徳学園

www.tokyoseitoku.ac.jp



学校法人東京成徳学園は
2026年に創立100周年を迎えます

- 東京成徳大学
- 東京成徳大学大学院
- 東京成徳短期大学

東京キャンパス(十条) 東京都北区十条台1-7-13

TEL 03-3908-4530 URL www.tsu.ac.jp

- 東京成徳大学中学・高等学校

中高一貫部 東京都北区豊島8-26-9

TEL 03-3911-2786 URL www.tokyoseitoku.jp/js/

高等部 東京都北区王子6-7-14

TEL 03-3911-5196 URL www.tokyoseitoku.jp/hs/

- 東京成徳大学深谷中学・高等学校

埼玉県深谷市宿根559

TEL (中学) 048-573-1784 URL (中学) www.tsfj.jp/top

(高校) 048-571-1303 (高校) www.tsfh.jp

- 成徳幼稚園

東京都北区豊島8-24-2

TEL 03-3911-6337 URL www.tokyoseitoku.ac.jp/t-kind/

- 東京成徳スイミングスクール

東京都北区王子6-7-14

TEL 03-3914-2383 URL www.tokyoseitoku.ac.jp/swimming/

東京成徳学園後援会のご案内

東京成徳学園の使命達成のため、オール東京成徳で尽力しようと幼稚園から大学院まで学園全体の後援組織として、ご賛同いただく会員を募り組織した後援会です。趣旨をご理解いただき、ぜひご参加ください。

東京成徳学園後援会 目的および事業

(東京成徳学園後援会会則より)

本会は会員相互の親睦を図り、併せて学園の発展に寄与することを目的とし、次の事業を立案実施する。

1. 学園行事への参加協力。
2. 在学生の研究活動、部活動の助成。
3. 卒業生進路への協力。
4. 会員の親睦会、研修会の開催。

入会に関するお問い合わせ

TEL 03-3911-5196

担当 大橋、遠藤 (事務)

読者アンケートのお願い

「TOKYO SEITOKU NOW」をご覧いただき、誠にありがとうございます。今後の発行に向け、より良い紙面作りをするために、皆さまの感想をぜひお聞かせください。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

※お寄せいただいた個人情報は、今後の広報誌作成の参考に利用するものであり、それ以外の目的で使用するものではありません。



QRコードからご回答いただけます。



@tokyoseitokuPR



@tokyoseitokuPR



@tokyoseitokupr

